

[005]ポリモルフィア表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7343134>

出版情報：ポリモルフィア. 5, 2020-03-03. Office for the Promotion of Gender Equality, Kyushu University
バージョン：
権利関係：



審査総評

2018年度ジェンダー研究に取り組む学生への研究助成プログラム

野々村淑子

九州大学男女共同参画推進室 学生教育等部門長
大学院人間環境学研究院 教授

2010年度から始まった学生対象のジェンダー研究助成制度は、2018年度で9年目を迎え、のべ109名が採択された。このようなジェンダーの視点を持つ研究を促進することを目的とした学生支援の活動は、国内では珍しい取り組みとして評価されている。公募は、今年度は4月後半に開始し、採択決定を8月初めに行うよう変更した。これにより採択者が8月の夏休み期間中に行う調査研究費用も助成の対象とすることが可能となった。助成の対象は学部および21世紀プログラムの学生、博士前期・後期課程の学生である。男女共同参画推進室学生教育等部門の教員の審査により、助成対象者と金額が決定される。公募に際し、学内の広報はポスターの掲示だけでなく、学生ポータルやホームページによる情報提供も行っている。ポスターは、制度の開始初年度から学生教育等部門の室員であった、芸術工学研究院の尾方義人准教授に依頼している。視覚的にも学生たちの記憶に定着するよう、周知を拡げる目的で、デザイン自体に変更は加えず、毎年同じデザインのポスターを掲載することになっている。

これまでに助成対象になった研究の領域としては、経済、芸術、医療、介護メディア、防災、臨床心理、政治、スポーツ、文学、歴史、建築、発達心理、漫画、労働、教育が挙げられ、対象領域は年々広範囲に広がってきている。本助成は他分野から応募を募り、学生の教育を目的としているため、できるだけ多くの研究計画を採用することに合意してきた。学生教育等部門の教員全員による透明性の高い審査方法を導入しており、研究計画の審査基準をより明確にし、審査について時間をかけて配分額を決定している。また、審査委員からは研究設計、研究内容について厳しいコメントも出され、学生へフィードバックしている。

2019年度の採択者9名の内訳は、博士課程3名、修士課程4名、学部生2名であり、所属は地球社会統合科学府、人間環境学府、芸術工学府、歯学府、法学部、21世紀プログラムであった。今年度も公募要項、申請書の内容の一部改訂を行った。また、今年度より過去に採択された研究テーマ、及び、2018年度の研究成果を男女共同参画推進室のホームページにアップロード（学内限定）している。

2019年2月20日に「ジェンダー研究に取り組む学生への研究助成プログラム平成30年度報告会」を伊都キャンパス中央図書館2F、男女共同参画推進室多目的スペースで実施し、2018年度の採択者に

よる研究報告会が開催された。

報告会では、歴史や教育、労働、文化や社会、歯学の領域での性差、セクシュアリティなどのテーマについて、日本や中国、イギリスに関する研究の発表がなされた。

本報告会は、ジェンダーやセクシュアリティの視点から異分野の学生がそれぞれのアプローチで研究を報告することによって、相互に刺激し合い、あらたな知見を得て、より深い洞察、あらたな研究テーマの発見に繋げていくことが期待されている。今回の報告会でも、発表者と参加した教員、学生との間で活発なディスカッションが行われた。

なお、この研究助成プログラムは、採択者の研究成果を3月末に報告書にまとめており、2018年度の採択者と採択テーマは下記のとおりである。

2018年度採択者と採択テーマ一覧

番号	名前	所属	学年	タイトル
1	家入 祐輔	法学部	4	日本のフェミニズムにおけるメディアを通じた連帯とその変容 —ミニコミとzineの比較分析から—
2	倉持 遥	教育学部	4	18世紀イギリスにおける男性結社フリーメイソンの正当性の論理
3	中西悠梨香	歯学部	5	歯周病原細菌 <i>P. gingivalis</i> 感染による老齢マウスの脳機能の性差について
4	徐 佳汝	人間環境学府	M1	1920～30年代中国における学校衛生教育—女性を中心に—
5	謝 傑	地球社会統合科学府	M1	育児期女性の仕事と育児の両立と保育所に関する研究 —企業主導型事業所内保育所に着目して—
6	松浦 優	人間環境学府	M1	ポルノ論争再考—虚構的キャラクターを性的対象とする営みに注目して
7	江頭 史歩	芸術工学府	M1	多様化する性と舞台表現 -ジェンダーから見た日本近現代演劇-
8	童 知微	芸術工学府	M1	宝塚歌劇と越劇における演劇とジェンダー
9	川邊あさひ	人文科学府	M2	再編される性売買の諸相 —山口県の芸娼妓「解放」に着目して—
10	越坂 裕太	人文科学府	M2	近世武家社会における「奥向の献上」に関する研究：「大奥の献上」に注目して
11	井上 智史	人間環境学府	D2	多様な性的マイノリティの連帯はいかにして可能か
12	菊池 美幸	経済学府	D2	近代日本の産業発展と結核 —香川県における出稼ぎ女性労働を中心として—
13	曹 家寧	地球社会統合科学府	D3	中国における若年女性農民工の家族意識の変遷
14	王 欣	地球社会統合科学府	D3	ほめの談話に見られる日本語と中国語のジェンダー差 —ほめの対象に焦点をあてて—
15	譚 テイテイ	人間環境学府	D3	Official Discourse on Fatherhood and Family — A Document Analysis of <i>Women of China Magazine</i> 1978-1992 —
16	坂口 将史	芸術工学府	D3	少女マンガが少女に示すジェンダー規範(雑誌『なかよし』の場合)

注) 所属および学年は、平成31年2月時点